

小平市地域エネルギービジョン中間見直し (令和 2 年度末実績)



八小学童クラブ第二第三

令和 3 年 9 月

小平市

めざす環境像

循環・調和・協働の「わ」を大切に みんなで気持ちよく暮らせるまち こだいら

基本理念

緑の豊かさを基調としながら、次世代の子どもたちへつなぐ低炭素社会づくり

基本方針

- ① 限りある資源を大切に使う
- ② 緑化と調和したエネルギー
負荷の少ない都市づくり
- ③ 環境マインド・アクション
の高い人づくり (人と人をつなぐ)

【重点プロジェクト】

- ① 市民版環境配慮指針の普及拡大（環境家計簿の推進）
- ② 緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出
- ③ 公立学校給食や市民への地産地消の推進
- ④ バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化
- ⑤ 公共施設への太陽光発電システムの導入
- ⑥ 市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成
- ⑦ 市民植樹事業の普及拡大
- ⑧ ノーカーデーの実施
- ⑨ 低公害車・低燃費車への買い替え
- ⑩ 環境学習（講座、講演会等）の充実

【その他の取組】

1. 環境共生住宅の普及
2. 省エネ診断・省エネ研修会の普及
3. 室内の温度設定の徹底
4. 省エネ診断及びESCO事業の導入
5. フィフティ・フィフティ制度の導入
6. 市民出資型による太陽光発電システム設置の検討
7. 市民参加による森林の整備
8. 保存樹林などの公有地化の検討
9. 公共施設駐車場の有料化による自動車利用抑制の検討
10. エコドライブの普及啓発
11. エコポイント制度の検討
12. 家電製品などの省エネルギー機器の普及拡大
13. グリーン電力証書制度の活用
14. ホームページや省エネカレンダー等による情報の発信
15. 環境配慮事業者連絡会の充実
16. 大学との連携による普及啓発

1 小平市のエネルギー消費量及び二酸化炭素排出量

最新の集計結果である、平成 30 (2018) 年度のエネルギー消費量は 5,794 テラジュールで、基準年度である平成 17 (2005) 年度のエネルギー消費量 8,727 テラジュールから 33.6%減少しました。

また、平成 30 (2018) 年度の二酸化炭素排出量は 525,657t-CO₂ で、基準年度である平成 17 (2005) 年度の二酸化炭素排出量 656,381t-CO₂ から 19.9%減少しました。

表 1 小平市のエネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の基準年度との比較

年度	エネルギー消費量(TJ)(※1)	二酸化炭素排出量(t-CO ₂)
平成17年度実績	8,727	656,381(※2)
平成30年度実績	5,794	525,657(※3)
30-17	△2,933	△130,724
増減率	△33.6%	△19.9%

(※1) T(テラ)：10 の 12 乗、J(ジュール)：熱量単位、1TJ=1×10¹²J

(※2)電気の二酸化炭素排出係数：0.374kg-CO₂/kWh

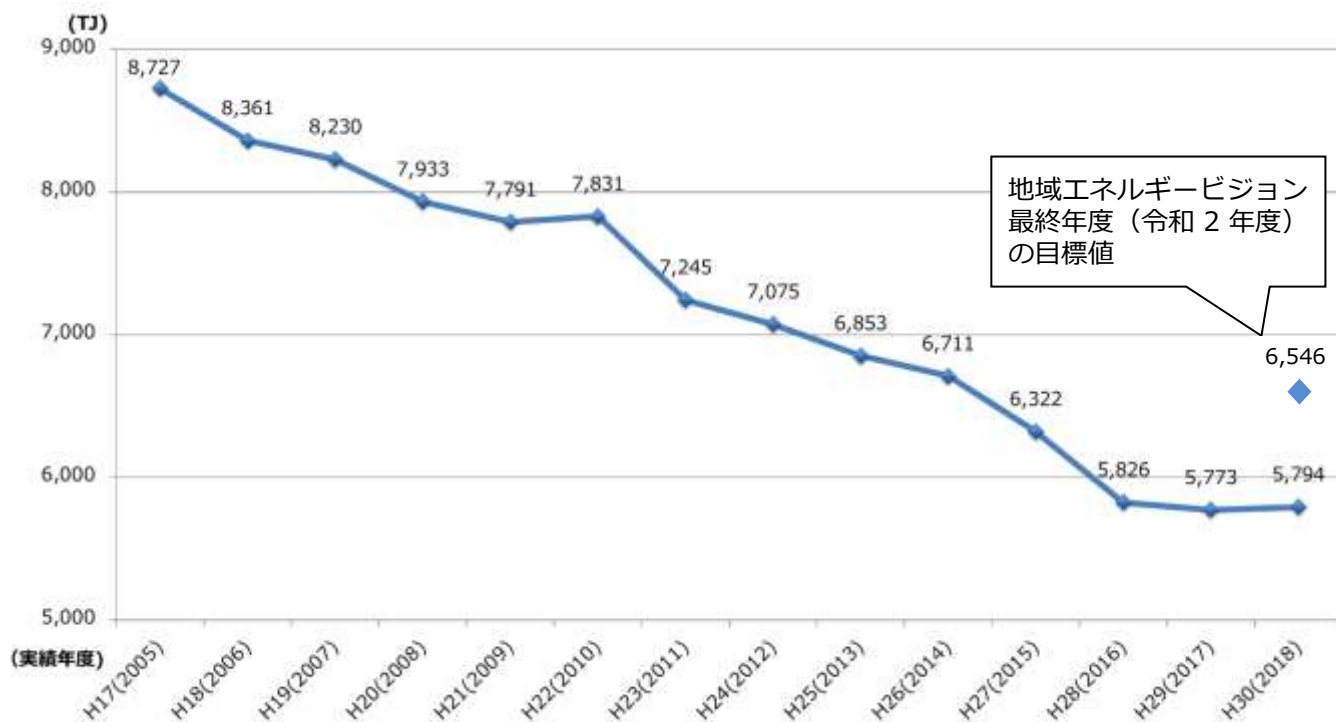
(※3)電気の二酸化炭素排出係数：0.464kg-CO₂/kWh

(出典：オール東京 62 市区町村共同事業資料)

2 小平市のエネルギー消費量の推移と目標数値

エネルギー消費量は、基準年度である平成 17 (2005) 年度以降、減少傾向にあります。令和 2 (2020) 年度までに平成 17 (2005) 年度比で 25%以上削減 (目標値 6,546TJ) という目標に対し、平成 30 (2018) 年度は前年度からわずかに増加したものの、平成 17 (2005) 年度比 33.6%削減と、目標を達成しました*。今後も更なるエネルギー消費量の削減を呼び掛けていきます。

*エネルギー消費量の算定に用いる統計データの公表時期が最大で 2 年程度かかるため、令和 2 年(2020) 度に把握した平成 30 (2018) 年度の実績値と目標値を比較。

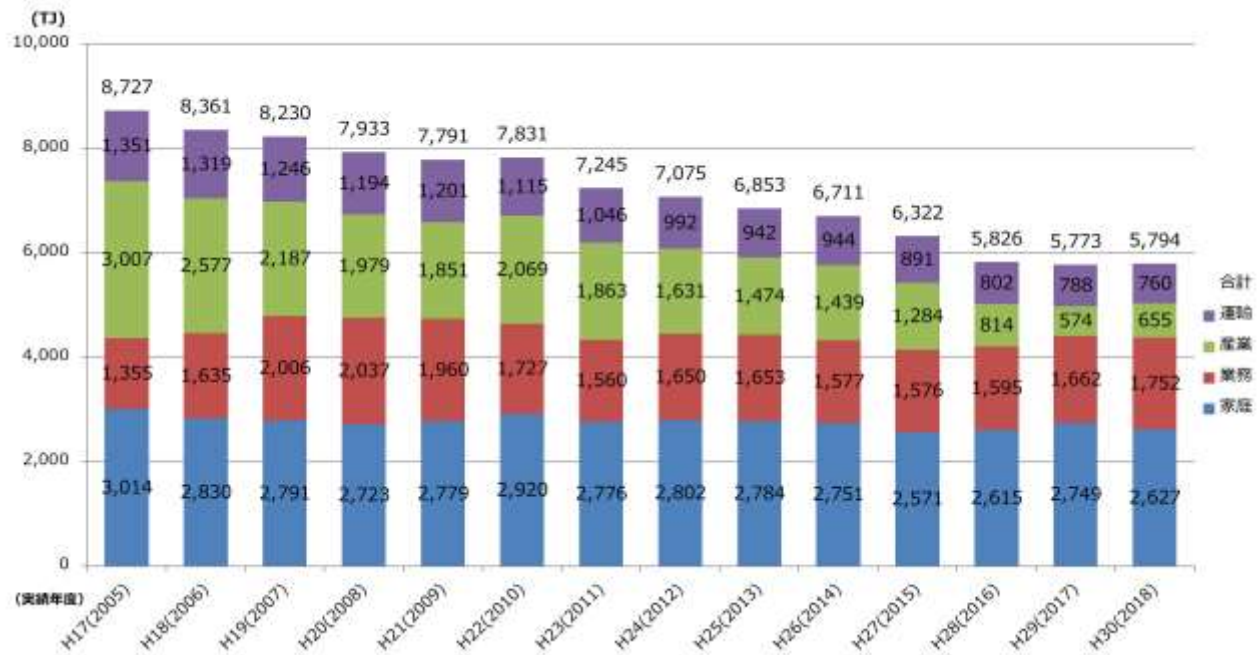


(出典：オール東京 62 市区町村共同事業資料)

図 1 小平市のエネルギー消費量の推移と目標値

3 部門別エネルギー消費量の推移

平成 30 (2018) 年度の部門別エネルギー消費量は、前年度と比較すると産業、業務部門は増加し、運輸、家庭部門は減少しました。

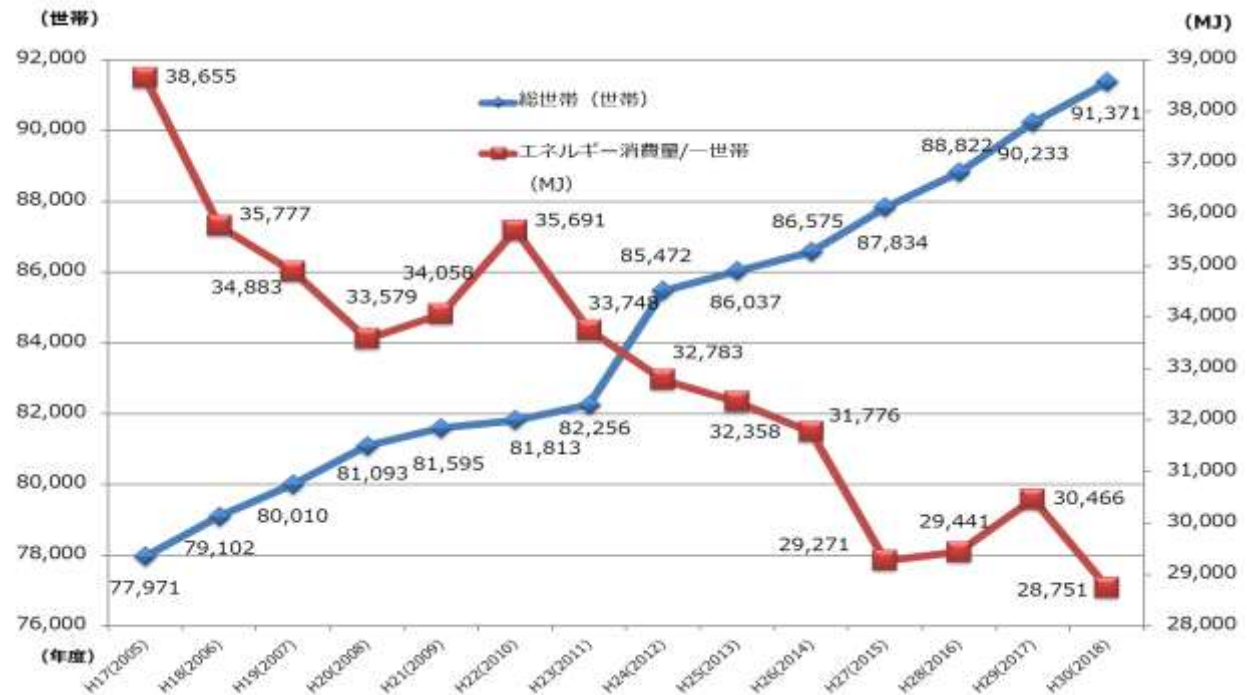


(出典：オール東京 62 市区町村共同事業資料)

図 2 小平市の部門別エネルギー消費量の推移

4 一世帯当たりのエネルギー消費量の推移

平成 30 (2018) 年度の総世帯数は前年度より増加しましたが、一世帯当たりのエネルギー消費量は前年度から 5.6%減少しました。



※一世帯当たりのエネルギー消費量は、部門別エネルギー消費量（家庭部門）を総世帯数で除した値

※総世帯数は各年度の 10 月 1 日現在の住民基本台帳上の数値を引用

図 3 小平市の一世帯当たりのエネルギー消費量の推移

5 重点プロジェクトの令和2年度末実績に対する評価

重点プロジェクトの令和2年度目標値に対し、5%を上回った取組を「A：目標を大幅に達成」、+5%以内の取組を「B：ほぼ目標どおり達成」、未達成となった取組を「C：未達成」の3段階で評価しました。評価の結果は表2のとおりです。

表2 重点プロジェクトの実施状況に対する評価

プロジェクト名	成果指標	R2目標値	R2実績値	実績/目標	評価
①市民版環境配慮指針の普及拡大	WEB・アプリ版環境家計簿の参加世帯（事業所）数（累計）	922件	2,274件	246.6%	A
②緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出	公共施設における緑のカーテン設置数	60施設	67施設	111.7%	A
③公立学校給食や市民への地産地消の推進	小学校給食における地場産農産物の納入率	25.0%	30.1%	120.4%	A
④バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化	食物資源循環事業における参加世帯数	1,000世帯	1,246世帯	124.6%	A
⑤公共施設への太陽光発電システムの導入	公共施設への太陽光発電システム設置数（累計）	50施設	39施設	78.0%	C
⑥市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成	市民・事業者への太陽光発電システム助成件数（累計）	1,845件	1,328件	72.0%	C
⑦市民植樹事業の普及拡大	苗木の配布数	1,100本	0本	0%	C※
⑧ノーカーデーの実施	冬期自動車使用抑制期間中のノーカーデーにおける庁用車使用回数	657回 (以下)	499回	76.0%	A
⑨低公害車・低燃費車への買い替え	庁用車の低公害車・低燃費車の導入率	97.0%	93.2%	96.1%	C
⑩環境学習（講座、講演会等）の充実	環境学習（講座、講演会等）の参加者数	1,100名	688名	62.5%	C※

※例年達成していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で未達成となったもの

6 小平市環境審議会の意見等

令和3（2021）年8月10日（火）に開催された環境審議会において、次のようなご意見をいただきました。

- ・
- ・
- ・

7 今後の展開

市のエネルギー消費量の削減は進んできましたが、部門別で見ると、主な要因は産業部門・運輸部門での削減が大幅に進んだ結果によるものであり、全体の70%程度を占める家庭部門・業務部門の削減はあまり進んでいません。今後は、家庭部門・業務部門でのエネルギー消費量削減のため、家庭生活や事業活動における省エネ・創エネ等の取組を推進していく必要があります。

令和3（2021）年に策定された第三次環境基本計画において、「小平市地域エネルギービジョン」は基本方針I「地球温暖化・エネルギー対策の推進」に位置付けられました。更なる省エネルギー化とエネルギーの有効活用を推進する「緩和策」や気候変動の影響を回避・軽減する「適応策」など、脱炭素社会の構築を見据え、二酸化炭素排出量の実質ゼロへのチャレンジに意欲的に取り組んでいきます。

重点プロジェクト 1 市民版環境配慮指針の普及拡大（環境家計簿の推進）

■取組の概要

家庭や職場での日々の省エネ行動が、地球温暖化対策の大きな一歩となります。また、省エネに取り組むことは、地球温暖化対策に貢献するだけでなく、光熱水費等の節約にもつながります。

みんなで無理なく小平流エコライフを楽しんで実践していくため、市民版環境配慮指針の普及を進めるとともに、WEB・アプリ版の小平市環境家計簿の参加者を増やします。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容						担当課
環境家計簿参加者による令和2年度のCO ₂ 排出量(電気・ガス)は422,589kg-CO ₂ で、前年度から91,826kg-CO ₂ の増となりました。						環境政策課
	参加件数	令和2年度 CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	前年度 CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	前年度からの CO ₂ 増減量 (kg-CO ₂)	前年度からの CO ₂ 増減率 (%)	
家庭	2,261件	421,623	329,314	92,299	28.0	
事業所	13件	976	1,449	-473	-32.6	
合計	2,274件	422,589	330,763	91,826	27.8	
令和2年5月、10月、10～12月を「チャレンジ省エネ2020」期間として設定し、電気・ガスの使用によるCO ₂ 排出量を前年同月期間より削減を目指すキャンペーンを株式会社有楽製菓の協賛により実施しました。 107世帯が目標を達成し、前年同期間より計3.7t-CO ₂ を削減することができました(達成賞とブラックサンダー(有楽製菓)、省エネグッズを12世帯に進呈)。また、環境家計簿内で令和2年中に、エコダイラポイント200ポイント獲得を目指して取組んでいただき、16世帯が達成しました(達成賞とブラックサンダー(有楽製菓)、省エネグッズを5世帯に進呈)。						環境政策課

■目標値

WEB版環境家計簿の 参加世帯(事業所)数
令和2年度
922件

■実績及び評価

年度	令和元年度	令和2年度	評価
実績値	2,010件	2,274件	
達成率	218.0%	246.6%	

■今後の方向性等

環境家計簿をはじめとする市民版環境配慮指針の普及啓発は、エコダイラネットワークと市が協働して進めています。今後は、第三次環境基本計画に合わせ、市民版環境配慮指針のリニューアルや環境家計簿の利用件数の増加を図ります。また、引き続きこいだら環境フェスティバルをはじめとする各イベントや環境学習講座等の機会を捉え、市民一人ひとりの省エネ行動の「深化」を図ります。

重点プロジェクト 2 緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出

■取組の概要

建物の窓や壁につる性植物（ゴーヤ、アサガオなど）を植栽すると緑のカーテンとなり、夏の日差しをやわらげてくれるだけでなく、室温の上昇を抑える効果もあり、省エネにも貢献します。また、街の身近な緑の創出にもつながります。この緑のカーテンを市全体で取り組んでいくため、公共施設に率先して設置する他、緑のカーテン講習会の開催や緑のカーテン用の種や苗の配布などにより、市民・事業者にも取組を普及啓発します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
市の公共施設 67 施設で緑のカーテンを設置し、夏の省エネに取り組みました。 実施施設 庁舎、地域センター5 館、子ども家庭支援センター、学童クラブ 5 か所、花小金井南児童館、小川町二丁目児童館、保育園 9 園、健康福祉事務センター、リサイクルセンター、ふれあい下水道館、建設事業所、市営自転車駐車場 15 か所、小学校 12 校、中学校 5 校、公民館 8 館	総務課、市民協働・男女参画推進課、子育て支援課、保育課、生活支援課、資源循環課、下水道課、道路課、交通対策課、教育総務課、公民館
ゴーヤの種とアサガオの種を市内の公共施設 54 施設に配布しました。また、9月5日開催のこだいら環境デー、3月13日開催の環境フォーラムで緑のカーテン写真の展示を行いました。	環境政策課

■目標値

公共施設における 緑のカーテン設置数
毎年
60 施設

■実績及び評価

年度	令和元年度	令和2年度	評価
実績値	73 施設	67 施設	
達成率	121.7%	111.7%	

■今後の方向性等

市内の公共施設 75 施設への緑のカーテン設置を目指し、施設の緑の創出及び夏の省エネを図ります。また、緑のカーテン用の種・苗の配布や講座の開催等により、市民・事業者の皆様にも普及啓発します。

重点プロジェクト 3 公立学校給食や市民への地産地消の推進

■取組の概要

地産地消の取組は、食物の生産地と消費地が近く、輸送に係るエネルギーが少なく済むため、地球温暖化防止につながる取組です。

市立の保育園や小中学校の給食では小平産の農産物の利用を進め、地場野菜を利用することが環境にもやさしいことを学び、食育を通じた環境教育を推進します。

■ 令和 2 年度の主な取組

具体的な内容	担当課
学校給食での地場産農産物の利用を進めました。	産業振興課
全小学校（19 校）で学童農園を実施しました。	産業振興課

■ 目標値

小学校給食における 地場産農産物の納入率
令和 2 年度
25%以上

■ 実績及び評価

年度	令和元年度	令和 2 年度	評価
実績値	31.4%	30.1%	
達成率	125.6%	120.4%	A

■ 今後の方向性等

小中学校給食における地場産農産物の納入率 30%以上の継続を目指し、さらなる取組を進めます。

市の推進担当課：資源循環課・産業振興課・環境政策課

重点プロジェクト 4 バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化

■ 取組の概要

小平市一般廃棄物処理基本計画では、「こつこつ小平『もったいない』が根づくまち」を基本理念として、循環型社会（天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会）への変革に向けて、3R（廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用）の推進等の施策を進めることとしています。

食物資源(生ごみ)や廃食用油などのリサイクルをはじめとする 3R の取組を進めることによって、資源の有効利用とごみ処理量の削減を図ります。

■ 令和 2 年度の主な取組

具体的な内容	担当課
食物資源循環事業を実施し、資源化した堆肥は 93 トンでした。資源化した堆肥を市内農家、小・中学校、市民の皆様が利用し、資源の循環を図りました。	資源循環課
4 回開催した「リサイクルきゃらばん」で、家庭用廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料等にリサイクルしました。	資源循環課

■ 目標値

食物資源循環事業 における参加世帯数
毎年
1,000 世帯

■ 実績及び評価

年度	令和元年度	令和 2 年度	評価
実績値	1,000 世帯	1,246 世帯	
達成率	100.0%	124.6%	A

■ 今後の方向性等

食物資源循環事業の参加世帯規模をおおむね 1,200 世帯で継続します。

重点プロジェクト5 公共施設への太陽光発電システムの導入

■取組の概要

小平市は平らな地形である地域特性を活かし、自然の恵みである太陽エネルギーを最大限利用するため、市民・事業者・市民団体・市が一体となって「太陽光発電日本一プロジェクト」を進めています。

市の公共施設には計画的に太陽光発電システムを導入し、エネルギーの地産地消を推進するとともに、太陽光発電システムを普及する地域のシンボリックな役割を果たします。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容						担当課
<p>八小児童クラブ第二・第三新設工事で、太陽光発電システムを設置しました。なお、既存施設への設置については、屋根改修の必要性や国・東京都の補助金の状況を踏まえ、実施していません。</p> <p>設置施設数は累計 39 施設、総発電出力 477.8kW であり、令和2年度の総発電電力量は 545,480kWh で、二酸化炭素を 204,010kg-CO₂ 削減する効果がありました。</p> <p>※二酸化炭素排出係数を第二次エコタイラ・オフィス計画の基準年度である平成17年度の0.374kg-CO₂/kWhで計算しています。</p> <p>【太陽光発電システム設置施設】</p>						環境政策課、施設整備課
設置年度	施設名	発電出力	設置年度	施設名	発電出力	
H13	花小金井南地域センター・児童館	4kW	H25	小平第四小学校	20kW	
H14	大沼保育園	4kW		小平元気村おがわ東	16kW	
H18	小川町二丁目地域センター・児童館	4kW	H26	東部公園プール管理棟	8kW	
	東部市民センター	6kW		なかまちテラス	5kW	
H21	市庁舎	10kW	H27	小平第七小学校	20kW	
	花小金井小学校	10kW		小川西保育園	10kW	
	子どもキャンプ場トイレ	2kW		小川公民館	12kW	
H22	小平第九小学校	20kW	H28	上宿図書館	11kW	
	小平第十二小学校	20kW		大沼地域センター	11kW	
	学園東小学校	20kW		市民総合体育館	15kW	
	小平第一中学校	20kW		十小児童クラブ第三	10kW	
	小平第二中学校	20kW	小平第二小学校	20kW		
	健康センター	10kW	H29	鈴木地域センター	11kW	
	小平第一小学校	20kW		天神地域センター	10kW	
	小平第十三小学校	20kW		上宿小児童クラブ第二	4kW	
花小金井南中学校	5kW	小平第十小学校		4kW		
H24	小平市消防団第三分団詰所	1.8kW	H30	学園東町地域センター	5kW	
	小平第五小学校	10kW		リサイクルセンター	25kW	
	小川町一丁目地域センター・児童館	30kW	R2	八小児童クラブ第二・第三	4kW	
	中央図書館	20kW				

■目標値

公共施設への 太陽光発電システム設置数
令和2年度
50 施設

■実績及び評価

年度	令和元年度	令和2年度	評価
実績値	38 施設	39 施設	
達成率	76.0%	78.0%	

■今後の方向性等

公共施設の新設や建替えの機会を捉えて太陽光発電システムを導入します。また、これまで導入した設備の効率的なエネルギーの活用等、複合的にエネルギー施策を推進します。

市の推進担当課：環境政策課

重点プロジェクト 6 市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成

■取組の概要

市では、市民・事業者に対して、太陽光発電システム及び家庭用燃料電池（エネファーム）を設置する際の費用の一部を助成することにより、その設置を推進し、家庭部門・業務部門でのエネルギー消費量の削減を図る取組を実施しています。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
太陽光発電システム 53 件、エネファーム 135 件に対し、助成を実施しました。	環境政策課

■目標値

市民・事業者への 太陽光発電システム助成件数
令和2年度
1,845 件

■実績及び評価

年度	令和元年度	令和2年度	評価
実績値	1,275 件	1,328 件	
達成率	69.1%	72.0%	C

■今後の方向性等

太陽光発電システムの目標値で削減される CO₂ 排出量と令和2年度末の太陽光発電システム累計助成件数とエネファーム累計助成件数の合計で削減される CO₂ 排出量を試算すると下表のようになります。

目標値	太陽光発電システム1,845件×1,895kg = 3,496,275kg-CO ₂
令和2年度末	太陽光発電システム1,328件×1,895kg = 2,516,560kg-CO ₂ エネファーム1,148件×1,330kg = 1,526,840kg-CO ₂
合計	4,043,400kg-CO ₂ (目標値に対し、115.6%)

※太陽光発電システム設置による一般家庭の年間の CO₂ 削減量は、1kW 当たり 541.5 kg (JPEA 太陽光発電協会資料を参考) × 3.5kW (一般家庭の平均出力) = 1,895 kg-CO₂

※エネファームによる一般家庭の年間の CO₂ 削減量は 1,330 kg (FCA 燃料電池普及促進協会資料を参考)

第三次環境基本計画では、太陽光発電システムやエネファームに加え、蓄電池、断熱窓を助成対象とすることで、市の二酸化炭素排出量の削減を図ります。

重点プロジェクト7 市民植樹事業の普及拡大

■取組の概要

次世代を担う子どもたちに小平の緑を引き継ぐため、市内のあらゆる場所（公共施設、学校、公園などの空きスペース）に緑を創出します。

こだいらグリーンフェスティバル等のイベント時には、市民の皆様に苗木を配布し、自宅の庭などに植樹していただくことで緑の増加を図ります。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を鑑み、こだいらグリーンフェスティバルの実施を中止したため、市民への苗木配布は行いませんでした。	水と緑と公園課

■目標値

苗木の配布数
毎年
1,100本

■実績及び評価

年度	令和元年度	令和2年度	評価
実績値	1,000本	0本	
達成率	90.9%	0%	

※例年達成していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で未達成となった

■今後の方向性等

毎年目標値である1,100本の苗木を配布することで、身近な緑の創出に取り組みます。

重点プロジェクト8 ノーカーデーの実施

■取組の概要

低炭素社会の実現のために、自動車利用から二酸化炭素排出量の少ない公共交通機関への利用の転換を促進します。市では、「週に一度は乗らないデー」を合言葉に、年間を通して、原則毎週水曜日は、市の業務や職員の通勤時における自動車の使用を抑制するノーカーデーを実施するとともに、市民・事業者にも取組を普及啓発します。特に11月1日から1月31日の期間は、大気中の二酸化窒素の濃度が上昇することもあり、冬期自動車使用抑制期間を設定し、市報等により、広くノーカーデーの取組の啓発を行うとともに、市の業務等におけるノーカーデーの取組を強化します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
令和2年11月1日から令和3年1月31日の間を「冬期自動車使用抑制キャンペーン」期間として設定し、市報、のぼり旗・ポスターの掲出、庁内放送等により、「週に一度は乗らないデー」および「エコドライブ」を普及啓発しました。	環境政策課

■ 目標値

冬期自動車使用抑制期間中のノー カーデーにおける庁用車使用回数
毎年
前年度比減

■ 実績及び評価

年度	令和元年度	令和2年度	評価
実績値	658回	499回	
達成状況	達成	達成	

■ 今後の方向性等

庁用車から率先して、「週に一度は乗らないデー」実施するとともに、市民・事業者の皆様にも普及啓発します。

市の推進担当課：総務課・環境政策課

重点プロジェクト9 低公害車・低燃費車への買い替え

■ 取組の概要

すべての庁用車は、低公害車及び低燃費車に計画的に買い替えます。また、イベントなどを通して、市民・事業者への低公害車及び低燃費車への買い替えを普及啓発します。

■ 令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
交換時期が到来した庁用車から低公害車への買い替え等を実施し、庁用車103台中96台が低公害車となりました。このうち12台が電気自動車です。	総務課

■ 目標値

庁用車の低公害車・低燃費車の 導入率
令和2年度
97%

■ 実績及び評価

年度	令和元年度	令和2年度	評価
実績値	89.9%	93.2%	
達成率	92.7%	96.1%	

■ 今後の方向性等

庁用車の低公害車・低燃費車の導入を進めるとともに、市民・事業者の皆様にも普及啓発します。

重点プロジェクト 10 環境学習（講座、講演会等）の充実

■取組の概要

すべての人が、地球温暖化を自らの問題として捉え、環境に配慮した行動を実践することが何よりも重要です。そのために、市では、環境と私たちの暮らしとの関わりについて身をもって学ぶ機会を充実させます。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容				担当課
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となったイベントがあったものの、合計 21 回の環境学習（講座、講演会等）を実施し、参加者総数は 688 名となりました。				環境政策課
実施日	内容	会場	参加者数	
6月22日	小平第七小学校出前授業	小平第七小学校	110名	
6月26日				
7月2日	鈴木小学校出前授業	鈴木小学校	47名	
7月10日	学園東小学校出前授業	学園東小学校	62名	
7月14日	小平第五中学校出前授業	小平第五中学校	13名	
8月1日	親子環境教室「昔の暮らしから学ぼう！省エネ&打ち水」	小平ふるさと村	15名	
8月2日	自然観察会「パークレンジャーと行く！小平の生きもの調査隊！」	都立狭山・境緑道、たけのご公園	20名	
9月5日	地域猫セミナー みんなで解決！飼い主のいない猫トラブル	リサイクルセンター	24名	
9月11日	上宿小学校出前授業	上宿小学校	55名	
9月12日	オンライン環境学習講座「魔法のふるしき講座」	Web (Zoom)	23名	
10月2日	第1回犬のしつけ方教室	福祉会館前市民広場	19名	
10月9日	第2回犬のしつけ方教室	小平市役所	18名	
10月13日	小平第十小学校出前授業	小平第十小学校	113名	
10月23日	第3回犬のしつけ方教室	小平市役所	15名	
10月30日	第4回犬のしつけ方教室	福祉会館前市民広場	18名	
12月17日	オンライン環境学習講座「脱炭素！非常用電源！ソーラーパネルと蓄電池の選び方」	Web (Zoom)	21名	
1月23日	市民版環境配慮指針啓発支援講座「燃料費0円のおひさまクッキング、ダンボールクッカーでエコな生活！」	小平元気村おがわ東	9名	
1月27日	気候変動適応策講演会「気象キャスターに学ぶ地球温暖化～気候変動への適応とは～」	小平市役所	47名	
2月14日	環境学習講座「落ち葉の下のミクロの世界をのぞいてみよう」	多摩六都科学館	23名	
2月22日	環境学習講座「ヘアスタイリストと考える地球温暖化」	福祉会館、Web (Zoom)	17名	
3月13日	環境フォーラム講演会「私たちの選択が地球の未来を変える～環境と人に配慮したエシカル消費のすすめ～」	ルネこだいら、Web (Zoom)	19名	
			合計	688名

■目標値

環境学習（講座、講演会等）の参加者数
毎年
1,100名

■実績及び評価

年度	令和元年度	令和2年度	評価
実績値	1,317名	688名	
達成率	119.7%	62.5%	

※例年達成していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で未達成となった

■今後の方向性等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない状況ですが、多くの皆様に環境を大切にする意識を高めていただき、環境に配慮した生活や行動をしていただくきっかけとなるよう、継続して環境学習等を実施します。

その他の取組 1 環境共生住宅の普及

■取組の概要

環境共生住宅とは、小平の緑豊かな地域特性を活かし、できるだけ電気やガスを利用した機器を使用せず、太陽や自然の風、気温の変化、大地の熱といった自然エネルギーを利用した環境にやさしい住宅のことです。

たとえば、夏は、風の通り道や広葉樹による木陰を利用して暑さをやわらげ、冬は、太陽のエネルギーを集めて蓄熱し、建物の高断熱・高気密により熱損失を防ぎ、暖房効果を高めます。

市の公共施設も含め、このような建物の構造にした上で、さらに太陽光発電や太陽熱温水器、高効率給湯器などの新エネルギー機器を設置し、より環境への負荷の低減を目指します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
<p>重点プロジェクト②により、緑のカーテンを市の公共施設に設置するほか、市民の皆様へ普及啓発するなど、緑のカーテンによる省エネに取り組みました。</p> <p>また、「緑のカーテンキャンペーン」と称し、市民、事業者、公共施設から緑のカーテン設置時の写真を提供していただき、イベントで写真展を開催するなど、普及拡大に努めました。</p> <p>重点プロジェクト⑤⑥により、市の公共施設に太陽光発電システムを導入するほか、市民・事業者の皆様が太陽光発電システムまたは家庭用燃料電池（エネファーム）を設置する際の費用の一部を助成することで、設置拡大に努めました。</p>	環境政策課

その他の取組 2 省エネ診断・省エネ研修会の普及

■取組の概要

東京都では、中小規模事業者を対象にそれぞれの事業者にあった省エネ対策の提案や運用改善の支援及び研修会を実施しています。市では、東京都と連携して、これらの制度を事業者が積極的に活用できるよう、制度のPRや参加事業者の募集、会場の提供などの支援を行います。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
<p>中小規模事業者向けパンフレット「省エネルギー診断のススメ」、「地球温暖化対策ビジネス事業者を活用した省エネ対策」を環境政策課窓口で配布し、制度のPRを行いました。</p>	環境政策課
<p>環境配慮事業者連絡会に所属する事業者へ東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）からのお知らせや、市のイベントの情報提供を行いました。</p>	環境政策課

その他の取組 3 室内の温度設定の徹底

■取組の概要

室温の適切な温度設定（冷房時は28℃、暖房時は20℃を目安（※））による省エネ化を図ります。クールビズ・ウォームビズやクールシェア・ウォームシェアによって、快適に過ごすことも大切です。

市の公共施設でも室温の適正化を図っていますが、特に夏季（7月～9月）は目標数値を定めて取り組みます。

※政府は、自らが率先して省エネルギーを進めるために、暖房を使用する場合は室温19℃を徹底するとしています。市でも、この方針に準じて、暖房時の室温を19℃としています。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
令和2年度小平市節電対策基本方針を策定し、市の公共施設における具体的な取組として夏季期間は28℃、冬季期間は19℃を目安に室内の温度設定を行うとともに、市ホームページ等で市民・事業者の皆様への周知を図りました。	環境政策課
令和2年7月から9月の3か月間、平成22年度比15%以上の使用電力総量の抑制を行うという目標に対し、調査対象136施設における実績はマイナス25.0%となり、目標を達成しました。	環境政策課

その他の取組 4 省エネ診断及びESCO事業の導入

■取組の概要

エネルギー消費量が多い施設等において、省エネ診断及び省エネ改修（ESCO事業）を検討します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
施設担当課との調整により、ESCO事業の検討を含め、LED化を推進しています。	環境政策課
公共施設34施設において、既存照明からLED照明器具に更新しました。新設した施設と合わせると、公共施設の照明器具50,397台中、25,287台がLED照明器具となりました（導入率50.2%）。LED照明に係る消費電力や二酸化炭素排出量は、蛍光灯に比べて約71%以上削減されます（一般社団法人日本照明工業会HP参照）。 【LED照明更新実施施設】 市民文化会館、たいよう福祉センター、あおぞら福祉センター、健康センター、上水本町こぶし公園、ぐみくぼ公園、小学校18校、中学校8校、東部市民センター、大沼図書館	文化スポーツ課、障がい者支援課、健康推進課、水と緑と公園課、教育総務課、図書館

その他の取組 5 フィフティ・フィフティ制度の導入

■取組の概要

小・中学校で省エネルギーに関する学習を行い、省エネ行動を実践することにより、光熱水費が前年度よりも削減されることがあります。この削減された光熱水費の一部を学校の省エネ・創エネ機器等の設置や緑化の推進などの予算に還元することにより、さらに省エネ意識を高めるしくみづくりを検討します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容		担当課
二酸化炭素排出量の削減効果の高い施設に対し、省エネ関連の修繕などに充てるため、4施設に「エコダイヤ予算」を配分しました。		財政課
環境対応型照明器具交換	上水本町こぶし公園、ぐみくぼ公園、東部市民センター、大沼図書館	

その他の取組 6 市民出資型による太陽光発電システム設置の検討

■取組の概要

集合住宅に入居しているなどの理由で、太陽光発電システムを設置したくても設置できない市民のために、事業所などの建物を利用した太陽光発電システムの設置を検討します。

事業に賛同する市民が、その太陽光発電システムの設置に要する経費に対して出資するという形で太陽光の取組に参加をし、設置された太陽光発電による売電収入を出資者に配当として還元するしくみです。

また、事業者は、事業所の建物などに太陽光発電システムを設置する場所がある場合は、場所を提供します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容			担当課
市内の NPO 法人が主体となり、市民共同発電所の取組を進めています。市民共同発電所の詳細は下表のとおりです。			環境政策課
設置場所	稼働日	発電出力	
小平市学園西町 小川工営ウエストタウンビル	平成 25 年 3 月	12.0kW	
小平市津田町 小規模多機能サービス施設やまびこ	平成 26 年 12 月	10.3kW	
小平市小川町 障がい者生活介護施設夢風船	平成 27 年 1 月	13.4kW	
東村山市廻田町 千葉企業株式会社リサイクルセンター	平成 27 年 7 月	25.3kW	
小平市仲町 障がい者生活リハビリセンター六三四	平成 28 年 5 月	13.3kW	
小川町 1 丁目 障がい者生活介護施設みどり	平成 31 年 4 月	16.2kW	
花小金井 3 丁目 障がい者グループホームよつば	平成 31 年 4 月	11.0kW	

その他の取組 7 市民参加による森林の整備

■取組の概要

市民参加による植樹、下草刈り、間伐などを行い、樹林を元気にすることにより CO₂ の削減を図ります。また、子どもなど市民の自然観察、環境学習の場として活用します。

■令和 2 年度の主な取組

具体的な内容	担当課
8月2日に自然観察会「パークレンジャーと行く！小平の生きもの調査隊！」を開催し、都立狭山・境緑道、たけのご公園の生き物の生息状況を調査しました。調査結果等は報告書としてまとめ、市ホームページで公表しました。	環境政策課
市内保存樹林でNPO法人やボランティアによる雑木林の保全活動（下草刈り、落ち葉掃き、樹木の間伐、枯れ枝の整理など）を実施しました。	水と緑と公園課

市の推進担当課：水と緑と公園課

その他の取組 8 保存樹林などの公有地化の検討

■取組の概要

市内にある保存樹林などは民有地にあることから、貴重な緑を残すためには、この保存樹林を公有地化する必要があります。土地所有者の理解と協力を得ながら、市の財政事情を踏まえ、公有地化について検討を進めます。

■令和 2 年度の主な取組

具体的な内容	担当課
小平市土地開発公社にて先行取得した上水新町一丁目特別緑地保全地区内の土地の一部の買戻しを行ったほか、上水新町一丁目第二特別緑地保全地区の土地取得を行いました。	水と緑と公園課

市の推進担当課：施設管理担当課・政策課

その他の取組 9 公共施設駐車場の有料化による自動車利用抑制の検討

■取組の概要

公共施設を利用する際に駐車場を利用する人とならない人がいます。自動車の使用抑制による CO₂ 削減の視点から、公共施設駐車場の有料化を検討します。

■令和 2 年度の主な取組

具体的な内容	担当課
中央公園駐車場の有料化について、令和元年度に実施した利用状況調査を踏まえて、有料化に伴う設備の選定及び利用料金体系に関して引き続き検討を行っています。	水と緑と公園課

<p>平成 20 年から、民間事業者と市民文化会館西側駐車場の土地賃貸借契約をし、有料駐車場としています。 令和 2 年 6 月の契約満了に伴い、土地の借受者公募を行い、継続して有料駐車場としています。</p>	<p>文化スポーツ課</p>
---	----------------

市の推進担当課：環境政策課

その他の取組 10 エコドライブの普及啓発

■取組の概要

エコドライブとは、急発進や急加速をしないことや、アイドリングストップの励行などの環境に配慮した運転方法のことです。CO₂ や排気ガスを抑制する環境改善効果があり、燃料代の節約効果もあります。市では、エコドライブを普及啓発するとともに、毎年 11 月 1 日から 1 月 31 日までの冬期自動車抑制期間中は特に庁用車の燃費改善に取り組みます。

■令和 2 年度の主な取組

具体的な内容	担当課
<p>令和 2 年 11 月 1 日から令和 3 年 1 月 31 日の間を「冬期自動車使用抑制キャンペーン」期間として設定し、市報、のぼり旗・ポスターの掲出、庁内アナウンス等により、「週に一度は乗らないデー」および「エコドライブ」を普及啓発しました。</p>	<p>環境政策課</p>
<p>令和 2 年 12 月 22 日、23 日に市の職員を対象として、エコドライブシミュレータ体験会を開催しました。</p>	<p>環境政策課</p>
<p>庁用車について、前年度比 5%以上の燃費向上を目標に設定し、エコドライブに取り組みました。調査対象 71 台中 29 台（40.8%）が目標を達成しました。</p>	<p>環境政策課</p>

市の推進担当課：環境政策課・産業振興課・公共交通課

その他の取組 11 エコポイント制度の検討

■取組の概要

商店街と連携しながら、公共交通機関の利用や環境家計簿など省エネ行動を実践した市民にポイントを与えるエコポイント制度を導入し、市民の省エネ行動が目に見えるしくみを検討します。

■令和 2 年度の主な取組

具体的な内容	担当課
<p>コミュニティバス・コミュニティタクシーの利用促進のために、回数乗車券、1 日乗車券の購入者に対し、地域参加店舗で利用できる「にじバス・ぶるべー号サンクスクーポン」制度を実施しました。 また、利用促進のために「参加店マップ」を作成し、制度の周知を図りました。</p>	<p>公共交通課</p>
<p>環境家計簿内でエコダイラポイントを 200 ポイント獲得した世帯に対して、達成賞と省エネグッズを進呈しました。</p>	<p>環境政策課</p>

その他の取組 12 家電製品などの省エネルギー機器の普及拡大

■取組の概要

家電製品の買い替え時は、省エネルギーラベリング制度などを利用し、省エネ効果の高い商品を購入します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
東京都が作成した「家庭のゼロエミッション行動推進事業 東京ゼロエミポイント」を配布し、省エネ家電の選び方などの啓発を行いました。	環境政策課

その他の取組 13 グリーン電力証書制度の活用

■取組の概要

市のイベント時等には、環境にやさしい電力を利用したグリーン電力証書を購入し、参加者への省エネ意識の向上につなげます。

商店街などが開催するイベントなどでも活用を検討します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
12月17日の環境学習講座「脱炭素！非常用電源！ソーラーパネルと蓄電池の選び方」、1月23日の市民版環境配慮指針啓発支援講座「燃料費0円のおひさまクッキング、ダンボールクッカーでエコな生活！」、3月13日の環境フォーラム講演会「私たちの選択が地球の未来を変える～環境と人に配慮したエシカル消費のすすめ～」において、それぞれ100kWhのグリーン電力証書を購入し、参加者への省エネ意識の向上につなげました。	環境政策課

その他の取組 14 ホームページや省エネカレンダー等による情報の発信

■取組の概要

ホームページや省エネカレンダー等により、省エネ情報などを発信します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
6月の環境月間に合わせて、市ホームページで省エネ行動の実践を呼びかけました。また、環境家計簿内で年間を通して省エネ情報や環境学習・イベントの案内を行いました。	環境政策課

その他の取組 15 環境配慮事業者連絡会の充実

■取組の概要

環境に配慮する活動に積極的に取り組んでいる事業者の相互情報交換の場である連絡会への参加者を増やすなどさらに充実を図ります。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）からのお知らせや、市のイベントの情報提供を行いました。	環境政策課

その他の取組 16 大学との連携による普及啓発

■取組の概要

市には大学が多数あることから、大学や学生と連携した環境マインドを育む取組を実践します。

■令和2年度の主な取組

具体的な内容	担当課
打ち水イベントや第三次環境基本計画のデザイン、市民版環境配慮指針の見直しについて、武蔵野美術大学との連携を検討しました。	環境政策課

小平市地域エネルギービジョン中間見直し
(令和2年度末実績)

令和3(2021)年9月 発行

編集・発行	小平市環境部環境政策課
住 所	〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地
電話番号	042(346)9818
F A X	042(346)9643
電子メール	kankyoseisaku@city.kodaira.lg.jp
価 格	¥100